



令和8年度（2026年度）

# 学校評価・年間評価

〈重点目標と活動指針〉

令和8年 5月29日

長野県野沢北高等学校

学校教育目標	<p>教養を高め、知性を磨き、心身を鍛え、豊かな環境と平和な世界を希求し、地域社会、国際社会の有為な形成者を育成する。</p>	総 合
重点目標(中・長期的目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの人格を尊重し、豊かな環境と平和を希求し、真理と正義を愛する自主的精神に充ちた人格の育成を図る。</li> <li>・120年を超える伝統に培われた本校の教育力を佐久新校（仮称）構想も見据え、発展的に継承し、人間性の陶冶と自己実現を図るための高い学力養成を目指す。</li> </ul>	
本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒自らが課題を見つけ、主体的に学ぼうとする姿勢を育むとともに、多様で高度な学問領域の探究心を育成する。</li> <li>2. 生徒一人ひとりの進路実現およびその後の学問探究のために必要な学力の養成を進める。</li> <li>3. 自主自律の生活習慣を確立し、より安定した学校生活をおくることができるよう支援する。</li> <li>4. 教員相互の授業見学をさらに進め、SSH指定校としての特色を踏まえた教科横断的、探究的な学びの視点に立った授業改善に取り組むとともに、より良い教育活動のための教育環境を整備する。</li> <li>5. 非違行為を撲滅し、いじめ・体罰のない安全・安心な学校づくりを進める。</li> </ol>	

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
学 習 支 援	教員研修	公開授業NOK I T Aを通して教員間の授業見学を活発にし、授業運営や授業方法の改善を図り、より良い授業を追求する。						
	学習習慣の確立	定期考査前の自習道場だけでなく、クラブ活動の休みの日などを利用して学校での学習時間を確保できる取り組みをする。						
		家庭学習のサポートをするために、オンラインで動画や学習教材を配信していく。						
	授業の見直し	これまでの「探究」活動に加え、SSH指定校として、科学的人材育成に向けたプログラムを通して、生徒の主体的な学びに取り組む姿勢と表現力を育成していく。						
		I C T機器の積極的な活用を目指す。						
		年2回実施の授業アンケートで生徒の授業に対する満足度を詳細に把握し、不満足割合が1割未満となることを目標とする。						

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
人権教育	人権を尊重する民主的な人間の育成	人権感覚を持ち、他者との関わりの中で、より良い関係を構築できる力を養うための各種活動を、年数回実施する。						
	職員の研修を深める	職員人権学習を年1回実施する。また、外部機関からの人権関連資料の適時周知を図る。						
進路指導	野沢北高校としての進路指導体制の確立	地域の進学校として安定した進路実績を残すため、学年・教科間で意思の疎通を図る。年3回の職員向け進路学習会及び指導検討会を開催する（1回は外部講師）。大学入試改革に対応できる進路体制を構築する。						
	生徒の進路希望の確認と進路に対する意識付け	生徒の進路希望を的確に捉えるため、各学年、進路希望調査を行う（3学年は複数回）。						
		保護者面談を含めた生徒面談を、各学年、年に3回以上行う。						

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
進 路 指 導	生徒の進路希望の確認 と進路に対する意識付 け	人生設計（キャリア）、学問分野や職業に対する 理解を深めるため、1年次は大学でのインターン シップやキャリア講演会を開催する。2、3年次 は自主的なオープンキャンパス参加を促す。						
	生徒の進路希望の実現	各学年、学習強化期間を年3回以上設け、生徒の 学習状況を確認し、家庭学習に対する意識を高め る。						
		進路情報を深めるため、各学年、年2回以上の進 路講話を行う。また、保護者向け進路講演会を年 1回行う。						
		各学年で夏期補習授業、1学年では10月の学習 合宿、3学年では特編授業を計画・実施する。						
		卒業前の3学年にアンケートを実施し、本校での 3年間の学びに対する満足度を調査する。						

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
生徒指導	自主自律の生活習慣の 確立	あいさつ、交通マナーの向上のための街頭指導を行う。交通マナー向上・基本的な学校生活については、生徒会矯風委員会の自治的活動を支援し、自主自律の生活習慣確立に寄与する。						
	「いのち」を大切に した安心・安全な学習環 境の確保	生徒が安心して生活できるよう指導する。生徒指導通信「日輪」を発行し全校生徒の意識向上をはかる。また、生徒相談と連携しながら生徒一人一人を支援する。						
	職員・保護者・生徒会・ 地域との連携	職員・保護者・地域間で生徒情報の共有と連携をはかる。警察、市少年センターとの連携を継続し情報共有に努める。						
生徒 相談	生徒の身体的・精神的 健康の保全を図る	生徒の身体的・精神的状態を把握し、健全な高校生活を送れるよう、相談体制の充実、アンケート（アセス等）調査の活用などを図る。						

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
自治活動 (生徒会)	委員会活動の充実	学校行事や委員会活動において生徒が主体的に計画をたて、安全かつ適切な運営ができるよう支援する。その際、委員会活動が日常生活においても機能するよう工夫をはかる。						
	班活動の充実	95%以上の入班率を維持し、安全にけがのないよう自主的に活動できるように支援する。生徒数の減少がすすむなか、将来の班活動のあり方がどうあるべきか考えていく。						
	地域との連携の充実と 情報発信の充実	委員会や班活動で、地域社会との交流を深めるとともに、文化祭などを通じて生徒会活動を伝えていく。						
学校評価	保護者アンケートの実施	各項目において「保護者による学校評価」を実施し、改善につなげる。						

対象	自己評価項目	自己評価の観点	成果と今後の課題 2027年3月	2026年度 年間評価				来年度の目標・向上策 2027年3月
			反省＝自己評価	A	B	C	D	来年度取り組むべき・ 取り組みたい課題と目標
清 掃 美 化	校舎内外の清掃・美化 に努める	<p>清掃・美化の呼び掛け指導を徹底し、清掃時間を確保しつつ校舎内外の清掃・美化に努めるとともに、ゴミ分別の徹底を図る。 具体的内容は以下の通り。</p> <p>① 教室床のワックスがけ（2月） ② 大掃除3回（6月・12月・3月） ③ 日輪祭などの学校行事におけるゴミ処理 以下の2点は課題として、今後検討する。 ④ ゴミの減量 ⑤ 予算の増額</p>						
P T A	保護者・教職員と連携 を図り、円滑なPTA活 動につとめる	<p>① 保護者との連携をする ② 教職員との連携をする ③ 計画的な係活動を行う 新校に向けPTAのあり方についても検討を行う。</p>						

※自己評価の基準は A：十分 B：ほぼ十分 C：もう少し D：不十分